

# 会派研究研修報告書

◇ 1月16日（火）

福祉担当部長が共感する認知症関連質問

～認知症ゼロを目指す街～

主催 一般財団法人地方議員研究会

2018年 1月

知多市議会「市民クラブ」

市民クラブ研究研修報告書

日 時	平成 30 年 1 月 16 日 (火) 午前 10 時から午後 0 時 30 分まで
研究研修場所	福岡県福岡市博多区博多駅東 1 丁目 16 リファレンス駅東ビル
研究研修項目	福祉担当部長が共感する認知症関連質問～認知症ゼロを目指す街～
参 加 者	市民クラブ (夏目 豊、荻田信孝、島崎昭三、古俣泰浩、林 正則、藤井貴範)
研究研修内容	<p>(1) ヘッドライトピック</p> <p>ア 寝たきり (要介護 5) になる要因は、1 位が脳卒中、2 位が認知症 (アルツハイマー病を含む。)、3 位が老衰、4 位が骨折で、ほぼ自宅で発生している。特に 1 位の脳卒中、2 位の認知症は脳が原因である。</p> <p>イ 認知症の患者は、2012 年に 462 万人、2025 年、つまり団塊の世代が 75 歳以上となり、後期高齢者となる時期には 700 万人と予想され、5 人に 1 人が発症すると予想されている。</p> <p>(2) そもそもアルツハイマー病とは</p> <p>ア アルツハイマー病は病名で、認知症とは症状の名前である。</p> <p>イ 認知症は、短期記憶が低下し、直近の記憶がなくなってしまう。しかし、長期記憶は鮮明に残っている。</p> <p>(3) 認知症問題の取り上げ方</p> <p>ア 地域支援事業、要介護になる前の施策</p> <p>イ 要介護認定調査の特記事項、どのようなものが採用されているか</p> <p>ウ 若年性認知症の居場所づくり など</p>
所 感	<p>認知症患者は、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年には 700 万人となり、高齢者の 5 人に 1 人となると予想されている。</p> <p>ストレスがなく、行動範囲が広い人にはアルツハイマー病は少なく、行動範囲が狭く、家に閉じこもっている人は、認知症を悪化させると言われている。</p> <p>アルツハイマー型は長期記憶が残存しているので、それを活かして音楽療法等に参加し、上書き頻度を高めることが大切である。</p> <p>一方、議会としては認知症施策推進総合戦略 (新オレンジプラン) の推進に向けて、認知症の理解の普及啓発の推進、若年性認知症施策の強化、介護者への支援、やさしい地域づくりに、認知症の人や家族の視点を大切にして、意見を反映しながら取り組んでいく。</p> <p>認知症の方には、「さ」 (=さすがです。最高です。 ) 「し」 (=知らなかった。新鮮です。 ) 「す」 (=素敵。素晴らしい。 ) 「せ」 (=センスがいい。 ) 「そ」 (=そうですね。 ) のフレーズを何回となく言って会話すると相手も心地よいとのことである。</p> <p>認知症にならないためにどうしたらよいかも学ぶことができ、幅の広い内容の大変有意義な研修会であった。</p>